

授業科目 福祉文化論

【担当教員名】 豊田 保		対象学年	4	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○		○	◎	
【一般目標：G10】 さまざまな福祉文化実践に触れ、「福祉文化」とは何かを理解する。また、社会福祉における文化や価値をめぐる問題について検討し、多様な価値が共存する文化について考察する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 福祉文化に関する知識を修得する 2. さまざまな福祉文化実践に触れ、感じたことを表現し合う 3. 多様な価値を有する人々の生き方や個性、自己実現の方法を理解する 4. 福祉文化に関して自分なりの意見を持ち、他の学生とコミュニケーションを図る					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			1	講義
2	福祉文化とは（1）：概要			1, 2	講義
3	福祉文化とは（2）：歴史			1, 2	講義
4	福祉文化とは（3）：背景			1, 2	講義
5	文化の多様性を考える（1）			1, 3, 4	講義・ディスカッション
6	文化の多様性を考える（2）			1, 3, 4	講義・ディスカッション
7	福祉文化をさぐる（1）			1, 3, 4	講義・グループ学習
8	福祉文化をさぐる（2）			1, 3, 4	講義・グループ学習
9	地域社会と福祉文化（1）			1, 3, 4	講義・グループ学習
10	地域社会と福祉文化（2）			1, 3, 4	講義・グループ学習
11	福祉文化の実際（1）			1, 3, 4	講義・グループ学習
12	福祉文化の実際（2）			1, 3, 4	講義・グループ学習
13	福祉文化の実際（3）			1, 3, 4	講義・グループ学習
14	福祉文化の実際（4）			1, 3, 4	講義・グループ学習
15	まとめ			1, 4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特に指定しません（プリントを配布します）。			
参考書		適宜、授業中に参考書を紹介します。			
その他の資料		適宜、授業中に資料を紹介します。			
【評価方法】 1. 授業にて実施する課題の提出内容、2. 出席数、3. 授業への参加度を総合して評価します。			【履修上の留意点】 1. 他大学の教員による講義の機会も予定していますので、その点について理解しておいてください。		